

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	浜松肺炎地域連携クリニカルパスの実態調査
研究責任者	聖隷浜松病院 呼吸器内科 橋本 大
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院 呼吸器内科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2029 年 9 月
対象者	2016 年 3 月から 2024 年 7 月までの間に当院に入院した患者さんのうち、肺炎地域連携パスを適応した方。また、同期間において肺炎または誤嚥性肺炎(DPC 傷病名)にて入院し、最終転帰が転院であった方。
研究の意義・目的	近年、人口の高齢化に伴い肺炎の患者数や死亡数の増加が問題となっています。高齢者肺炎の大半は誤嚥性肺炎であり¹⁻³⁾、再燃・再入院率が高く、入院期間が長期化する症例が多いことが報告されています⁴⁻⁶⁾。高齢者肺炎診療における医療機関の機能分担の推進および高齢者肺炎患者さんを地域全体で支える地域包括ケアシステムの構築が重要です。そこで、当院呼吸器内科は西山病院と連携し、高齢者肺炎地域医療連携クリニカルパス（以下、肺炎地域連携パス）の作成に取り組み、2016年3月から運用を開始しました。肺炎地域連携パス導入後3年間の実態調査を行い、転院受け入れ体制が向上し、早期から包括的介入が行われ、円滑な転院調整ができたことを報告しました⁷⁾。現在、2021年4月～浜松肺炎地域連携パスとして連携施設を拡大して、2021年8月～運用を開始しています。 本研究では、浜松肺炎地域連携パス導入後の現状および課題を明らかにすることを目的とします。 参考文献 1) Teramoto S, et al. J Am Geriatr Soc 2008; 56: 577-579, 2) 寺本信嗣. 日胸臨 2009; 68 : 795-808. 3) 嚥下性肺疾患研究会 編. 嚥下性肺疾患の診断と治療 改訂版, 2013. 4) Ishida T, et al. Intern Med 2012; 51: 2537-2544. 5) Kato T, et al. J Infect Chemother 2016; 22: 662-666. 6) Suzuki J, et al. PLoS ONE 2021; 16: e0254261. 7) 勝又ら. 日本クリニカルパス学会誌 2021; 23: 16-21.
研究の方法	研究デザイン 後方視的観察研究 方法 対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査・解析を行います。 年齢、性別、疾患、併存症、肺炎重症度、誤嚥性肺炎有無、パス完逐率、パス逸脱率、逸脱例では逸脱理由、入院日、退院日、紹介元、紹介先、入院から紹介状作成までの期間、入院期間、転帰、等 1) 肺炎地域連携パスの連携施設の経年推移を調査する。 2) 肺炎地域連携パスを適応した症例の背景および転帰などについて調査する。 3) 最終転帰が転院となった症例において、肺炎地域連携パス適応有無における背景、

	入院期間などについて統計ソフト(JMP®)を用いて解析する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 呼吸器内科 (氏名) 河野 雅人 TEL:053-474-2222(代表) 呼吸器内科外来 9:00~17:00 平日